

高田高校 SSH 通信

第64号

新潟県立高田高校 SSH 部

令和5年12月13日

WWL新潟 高校生国際会議「三条・大地の学校」

10月19日（木）、20日（金）の2日間、標記大会が開催され、県内外の高校生および留学生ら約170名が参集し、互いの探究活動などの成果を基に英語での議論を行いました。本校からも理数科2年生の生徒3名が参加し、現在取り組んでいる課題研究のテーマに関連した分科会で発表、議論しました。初日は『同じ空の下、話そう未来の希望を』と題して、三条市内のキャンプ場を会場に屋外での交流やディスカッションを行いました。10名程度のグループに分かれ、たき火を囲みながらのランチタイムでは、自己紹介を兼ねて日頃取り組んでいる活動を報告しました。その後、テーマに沿ってディスカッションをし、グループごとに提言をまとめました。2日目は三条高校に会場を移し、前日の提言を基に分科会ごとにスライドを作成し、代表者がステージで発表しました。

以下は、参加した生徒の感想です。

未来を予測するのが困難であり、インターネットの発達によって直接的な交流が減った今、WWLの活動をおして改めて面と向かって行うコミュニケーションの大切さを実感しました。世界全体で起こっている問題に対しグループで話し合って解決策を提案する活動で、会場にはネイティブの方もいらっしゃり、初めは不安を感じましたが、昼食時のアイスブレイクや分科会でお互いに打ち解けあって参加することができました。そして何より、英語の技能を活用し明るい未来のために尽力したいという共通の志を持った仲間だからこそ、非常に質の高い学び合いを行うことができました。私はグローバル化が急速に進む将来に英語を用いて多くの人と交流をすること、そして多様な意見を取り入れて様々な問題に多角的、客観的に向き合うことが大切だと考えます。今後も課題研究や社会に出て行く上で今回学んだことは必ず活かせるので、日本、そして世界に貢献できるよう学び続けていきます。

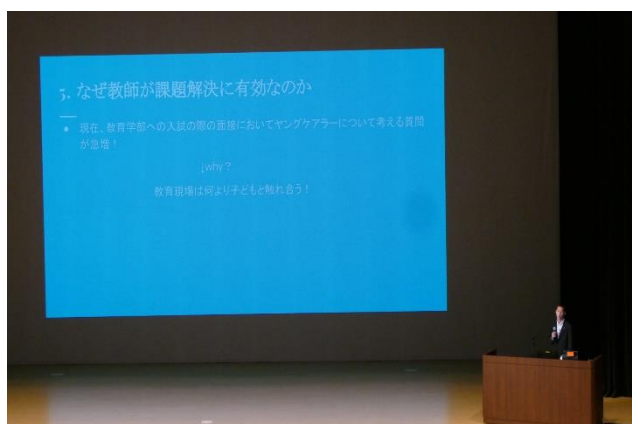


2年MC探究II 学習発表会

10月24日（火）、25日（水）に2年生普通科生徒による探究学習ゼミ発表会が行われました。今年度は自律促進、主体性向上、職業観の育成、目的意識の明確化、「社会貢献マインドセット」の育成を目的として、生徒個人で研究を行いました。東京研修での発表を経て、24日は校内で生徒全員による予選会、25日はオーレンプラザで代表者による発表会が行われました。ご指導いただいた企業の関係者の方々、審査員の皆様には、改めて感謝申し上げます。

代表者による発表、表彰者は以下の通りです。（発表順に記載）

- 2年5組 長谷川 嵐 『ヤングケアラー』
- 2年5組 小菅 璃斗 『日本の情報化の遅れ』
- 2年4組 森 尊 『日本の学力レベルの低下』
- 2年4組 朝日 亮佑 『日本の家庭におけるフードロス問題』
- 2年3組 嶋岡 小百合 『社会保障費の抑制』 **優秀賞**
- 2年3組 飯野 葵衣 『高齢者のQOL向上のために』
- 2年2組 藤中 茜 『日本の食品ロス～飲食店における食品ロスについて～』 **最優秀賞**
- 2年2組 小松 真由 『教育とメディア』
- 2年1組 樋榮 美優梨 『子どもの貧困』
- 2年1組 石井 崇慎 『日本の高校生における読書離れとスマホ依存』 **優秀賞**
- 2年2組 松本 優奈 『For the people all over the world to live happily』 (英語発表、審査対象外)



1 年理数科 科学セミナー

10月27日（金）に1年生理数科の生徒を対象に科学セミナーが開催されました。今年度は株式会社有沢製作所より田中浩様、佐藤達弥様をお招きし、「エポキシ樹脂の反応と GFRP (Glass Fiber Reinforce Plastic : ガラス繊維強化プラスチック)」というテーマで講演していただきました。今回は FRP の性質の紹介やエポキシ樹脂とガラスクロスを使って FRP を作成する実験、研究開発への心構えなどを講演していただきました。生徒にとって、今後の探究活動や進路決定において非常に参考となる機会となりました。

